

ブルーモスク

(スルタン・アフメット・モスク)

スルタン・アフメット・モスクは、1603年から1617年の間に統治した第14代オスマン帝国スルタン、アフメット1世によって建てられたもので、イスタンブールで最大かつ最も素晴らしいモスクである。モスクの建設は建築家スィナン（1490年前後～1588年）の弟子であり、柱や梁の構造の建築工事を請け負った建築家メフメット・アーガ（アルバニア出身、1540年 - 1617年頃）によって1609年に開始され、建設は1616年に完了した。建物は、モスクと共にマドラサ（イスラム学の高等教育機関）、病院、アラスタバザール（ブルーモスク裏手にある商店街）、学校、霊廟、キャラバンサライ（隊商のための取り引きや宿泊施設、バザールや商業地区に隣接）、公共の噴水で構成されていた。病院とキャラバンサライは19世紀に損傷を受けた。

スルタン・アフメット・モスクはオスマン帝国の宗教建築の最後の印象的な建造物である。他にもたくさんのモスクが建てられたが、どれもスルタン・アフメット・モスクの大きさや装飾の優雅さにはかなわなかった。